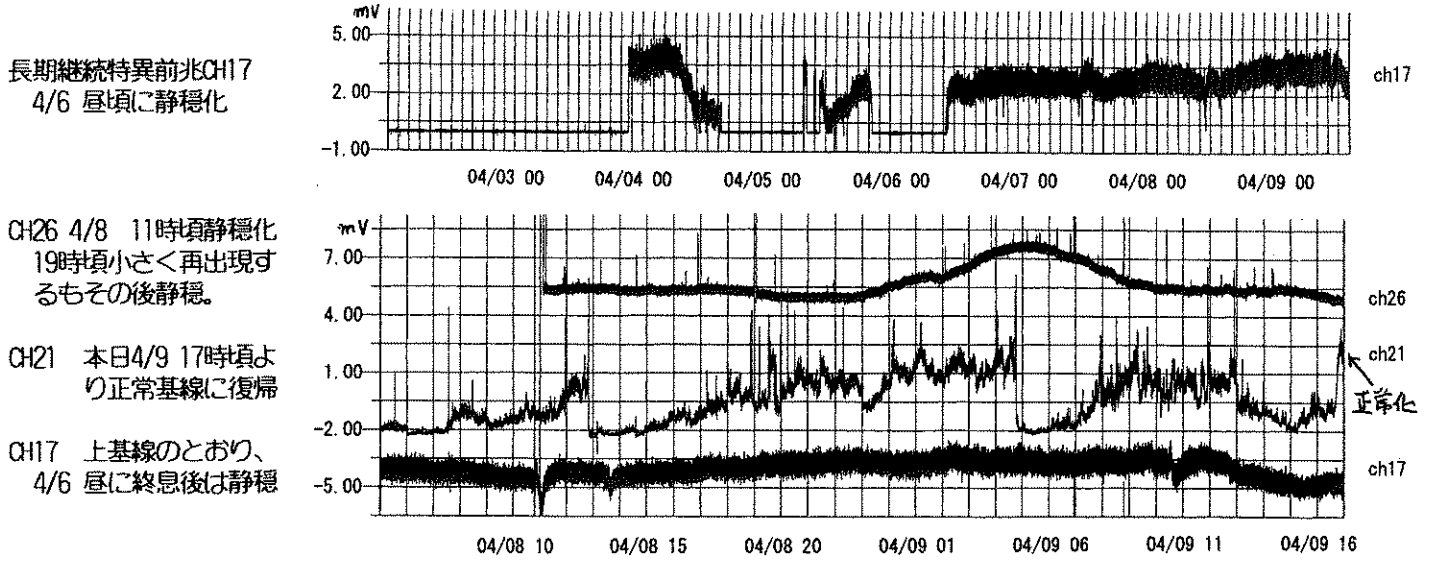


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北社市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 8年9ヶ月続いた前兆 全て静穏化
4/16±対応地震発生の可能性有



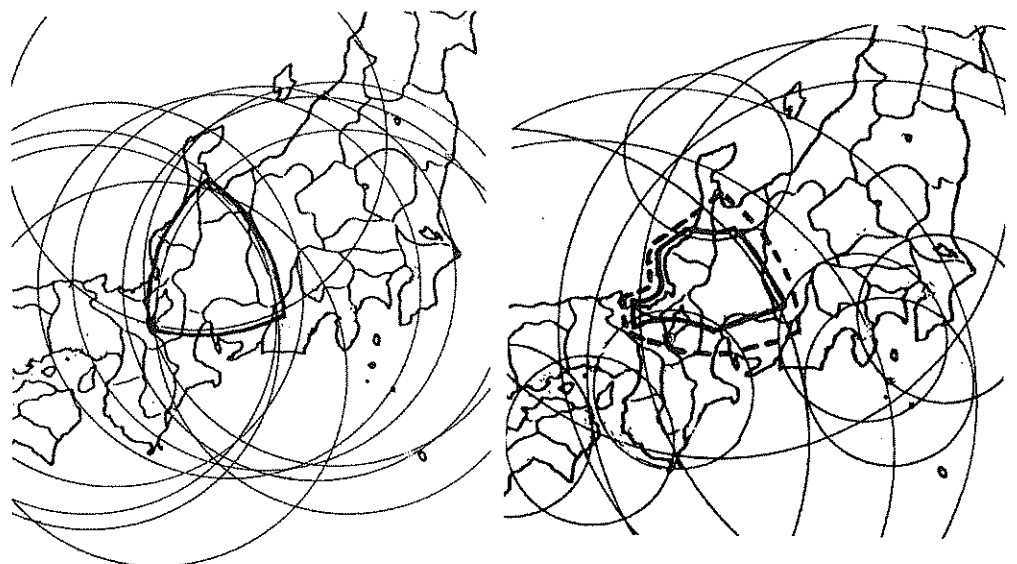
2008年7月初旬から8年9ヶ月続いた、観測歴上最長継続前兆No.1778前兆群は、23に及ぶステージ変化をし、現在に至ると云う特殊前兆群です。

この長期に渡る前兆が上基線のとおりCH21のみになり、そのCH21も本日4/9の夕刻17時頃より正常基線電圧値近くなり、18時現在、正常基線電圧値で基線を記録しております。

最大時期には30もの観測装置に顕著な前兆が出現していましたが、本日夕刻、全ての前兆が静穏化、関連継続前兆全てが終息致しました。

3/21.5が最終極大認識です。これに対し本日4/9.7終息で計算致しますと、4/16.3発生が計算できます。

現在の認識が正しければ、4/16発生の可能性が極めて高い状態です。直前特異が出現する場合は、4/12頃の可能性有。直前特異も含め前兆が再出現した場合は、修正を含め続報の可能性有。



- ◆推定領域：上図 左太線内領域＝大枠 右太線領域内領域＝可能性考え易い領域
- ◆推定規模：M7.8±0.5 (前兆評価誤認の場合でも最低M6.9±0.5)
- ◆推定時期：4月16日(4月16日±1)
(前兆再出現の場合は修正の可能性有)
- ◇推定地震種：陸域 震源が浅い(30km以浅) 日本列島地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間(又は午後6時±3時間)

※解析誤認で推定領域、規模等が実際と異なる場合は大変申し訳なく存じます。

※最終極大3/21.5認識はE-mail又はFAX で日々配信報告しております「地震前兆検知観測情報」では報告済でしたが、ホームページでは報告しておりませんでした。お許し下さい。